

大阪府立春日丘高等学校 学校運営協議会（定時制部会）議事録

校名	府立春日丘高等学校
准校長名	下本 隆二

開催日時	令和 2年 12月 4日（金） 18：00～19：10
開催場所	ウイステリアホール
出席者(委員)	中鹿 直樹会長、永野 浩二委員、大西 哲委員、片岡 誠委員
	長田 佳久委員 (欠席) 野村 明仁委員
出席者(学校)	下本 隆二准校長、島田 一教頭、中村 充希教諭、杉山 翔太教諭
傍聴者	なし
協議資料	令和2年度学校経営計画進捗状況、学校運営協議会実施要項改訂版、支援委員会の取り
備考	

議題等(次第順)

1. 学校教育計画の進捗状況と学校の様子について（准校長）
2. 各分掌より現在の状況について（各分掌長等）
3. 「大阪府立春日丘高等学校 学校運営協議会 実施要項」の改定について（教頭）
4. 協議テーマ「本校の生徒への支援について」（支援教育コーディネーター）
 - I…支援体制について
 - II…障がいのある生徒等への支援
 - III…コグトレの取り組みについて
 - IV…まとめ
5. 協議
6. その他
次回の連絡

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○本校の生徒への支援について

<主な質問>

- ・授業でコグトレの内容を生徒が熱心に取り組んでいたということだが、コグトレの何が取り組むきっかけになったのか。
⇒ つまずきがあったときにも、ゲーム性をもたせることで、取り組むきっかけが得られた。
- ・トレーニングの部分は専門的な部分があり、認知機能のトレーニングと社会での関係作りとのバランスが取りにくいのではないか。
⇒ コグトレでトレーニングをするというよりは、結果を用いて保護者懇談の際の話のきっかけづくりと考えている。その上で、次へとつなげることができたらと考えている。
- ・支援そのものよりも、支援の内容を理解し協力してもらうことのほうが難しいということだが、こういう協力をしてほしいということはないか。
⇒ 担当教員と保護者が連携を取りながら進めるというのが一番大切。地道に保護者の理解を得ながら進めていくことが必要だと思う。

<提言事項>

- ・自尊感情が下がっている子どもたちが、楽しく取り組めること自体がよい体験になる。
- ・自分の子どもの障がいを認めたくないという家庭は多いという実感がある。子どもの将来のために障がい理解を共有するひとつの道具として（コグトレを）考えるとよい。
- ・支援に関する取り組みについては、2～3年かけて期待して見せていただきたいと思う。
- ・学校運営協議会のなかでIETをベースにした支援の話ができたというのは感動的であった。

次回の会議日程

日時	令和3年 2月中旬～下旬 18：00～
会場	ウイステリアホール